

雜 錄

●振古未曾有の大震災に直面して

河 村 曉

今回の大震災は實に振古未曾有の一大慘事にして罹災者に對しては滿腔の同情を禁ずる能はざる處なると同時に三百年來何等の秩序なく隨時擴張して畸形的に發展せる帝都に一大改良を加へ衛生に防火に交通に共に世界の大都市に恥ぢざるの設備を施行するの最好機會たるを失はぬのである。此の好機を逸する事なく官民の協力に依り經濟力の許す限り震災火災共に絶体安全にして交通至便なる帝都の復興は最も翹望せらるゝ處で更に適切に之を約言すれば主として鐵鋼材及セメントを主要の材料とする帝都の復興が期待さるゝのである。吾人製鐵業者の双肩にかゝる責任も重大と云はねばならぬ。

幸にして我國の製鐵事業は歐洲大戰中異常の發展を來し若し各工場が其全能力を擧げて操業するに於ては少量の特殊製品を除く外大部分を自給自足する事必ずしも不可能の事ではないが、一般的に云へば只經濟的に其全能力を發揮せしむ可き補助設備を整備する事が當面の急務と信するのである。震災直後物資供給令布かれ急需品たる薄鋼板及之が加工品たる亞鉛鍍板の如き之を輸入に待つ己を得ざる事情ありしにせよ、愈復興の本計畫に要する材料に對しては當局者も需用者(殊に建築家)も内地鐵鋼材を專用するの方針を確立せられん事を希望して止ま

ぬ所なると同時に製鐵業者は奮て速に其陣容を整備し協力一致此の大需用に對するの覺悟を定め復興材料の經濟的自給を計らねばならぬ。若し夫れ其措置を誤り内地に生産し得る鐵鋼材料迄も悉く海外の輸入に仰ぐの擧に出でんか當に徒に貴重なる正貨の流出を助長するのみならず折角戰時中より發展の氣運に向ひたる我國製鐵業の基礎を破壊する事を恐るゝのである。

●久慈砂鐵製煉業開始

我國に於ては砂鐵及貧鐵鑛(塊)の分布は極めて廣く其鑛量も意外に豊富なるを以て此二者を巧みに利用せんとすることは我國製鐵業の未來に對し極めて重要なる問題なり。歐米諸國に於ても漸次良鑛の不足に依り夙に此點に着眼し今日迄種々の考案設備の發表せられたるもの尠からざるも未だ經濟的有利に作業せらるゝに至らざるものゝ如し。然るに今回巖手縣久慈港に於て開始せらるゝ砂鐵試驗は或は上記の鐵鑛利用の上に豫想外の好果を齎すべき望なきに非らず。同縣九戸郡久慈及大野に亘る砂鐵鑛區の大部分は松方五郎氏の社長たる常盤商會の有に屬し之が利用に就きては今日迄種々の試驗施行せられたるもチタンの爲め未だ有終の美を收むるに至らざりしも今回工學博士野呂景義君の考案に基き砂鐵を以て製造したるフェロコクスに貧鑛或は半ば酸化したる砂鐵鑛を以て造りたるブリツケットを配し殊更に鑛滓を多からしむる時は兩者其短を補ひ從來稱せられたる製煉上の困難を一掃し得べき見解の下に之が試験を開始する事となり、先づ北海道江刺に於けるカウパー式熱風炉三個を具備する三十噸吹熔鑛炉を購入し之を久慈港に移し假りに十噸吹の熔鑛炉に改造し又一方同所に特にフェロコクス製造に適

するコークス窯を築造する事とし目下白杉精一、内野久雄兩氏之れが衝に當り専ら工事を急ぎつゝあるを以て近々斯業開始の運びに至るべしと云ふ。此製鉄法は甚だ簡單にして其内容を畧言せば磁選したる砂鐵を以て製造したるフェロコークスに附近に産する貧塊鐵或は赤砂鐵（半ば酸化したるものにして土類多く磁選に不便なるもの）中チタン少きものを選び之を以て造りたるブリッケット若くは兩者を加へて裝入し鐵滓の量を適宜に増加し高度の熱風を以て吹立て鐵滓を出來得る限り鹽基性とすにあり。因に本試験に就きては野呂博士も大に考慮を傾け此國家的事業を完成せしめんと焦心せられたるも昨年來の大患にて今回遽に逝去せられ遂に自ら本試験に携はる事を得られざりしは斯業の爲め甚だ遺憾とする所なり。

● 帝都復興と製鐵事業の獎勵

震災地の家屋橋梁其他建造物の復舊については巨額の鐵材を要すべき事想像に難くないが大體何ヶ年位に全部復舊すべきか及その建造様式、具體的方法が定まらない今日に於ては所要鐵材數量の如き豫測する事さへも出來ぬのであるけれども、戦後財界沈靜に赴き稍平常の状態になつた今日に於て一ヶ年の國內消費量は百三四十萬噸で内六割内外を外國産に仰いで居る、従つて假りに平時の消費額に倍増するとしても其の増加分だけは無論外國より輸入しなければならぬ計算となるのである。而して内地製鐵業は戦後著しく沈靜を辿り不振を續けつゝある、政府當局としても戦時中折角勃興した斯業の發展獎勵策には随分苦心して來たのであるが生産費の關係で何うも外國品に優る地位を占むる事が出來ず在萬今日に至つたのである。従つて製

鐵業の發展を望む意味から云へば今日鐵材需要激増の機會をとらへ適當な方法を講ずる事が肝要で當業者の發奮と相俟つて政府當局の獎勵策宜しきを得るに於ては案外容易に斯業の發展を策し得るかも知れぬ。即ち今日の狀態に於て内地鋼材の生産費は一噸大體百十圓見當であるから市價が百十圓を維持するならば大體生産は續けられるものであつて假りに百廿圓の相場が出れば自然製鐵業は漸次發展に向ひ得る事ともなる。而して今日内地の斯業を脅かしつゝある上陸品は噸當り百四圓見當で輸入し得べく加ふるに爲替相場の變動が微妙な作用をして思惑を誘發して居るので此間に輸入税の免除あるは内地製鐵業の上には可なり苦痛であると云ふ。而し免税期も來年三月までに入港の分までであるから右豫定期間で打ち切るに於いてはさしたる苦痛はないものゝやうである。斯くの如く内外製産費の差違は可なり接近して居るから一割五分の輸入税を免除する事は内地製鐵業にとつては非常な苦痛で今回の分は震災當時の應急處置として人心を緩和する意味よりするも眞に止むを得ないものとし當業者も黙認して居たのであるが、來年三月卅一日の免税期間終了に際し若し延長するやうな問題が起れば當業者は全く死地に陥るものであるから無論極力反對するであらうが、政府當局としても此間の事情を知つて居る以上他の品目は兎に角として鐵材に就ては免税期間を延長するやうなことはあるまい。要するに内地鐵材の需要増加の機會に於て製鐵業の發展を策し、成るべく内地品を消費し多年振はなかつた斯業の上に多少共光明を齎すやう當業者と共に政府は相當の對策を講ずるのが至當であらう。

◎亞鉛引板の生産力

亞鉛引鐵板製造工場は震災前生産過剩のため甚しく不況に陥り工場を閉鎖するものもあつたが、震災後需要の激増する一方、東京方面にある罹災工場よりの供給が杜絶して市況の好化したため、關西各工場は遽かに増産するやうになつた、然るに東京方面にある罹災工場中全焼したのは東京鍍金會社のみで、他の工場は多少の修繕を加へて操業を開始し得る状態にあり、損害の少ない工場は製品市況の良好なる此際應急設備の下に全能力を擧げて製造する様であるから、關西地方の同業者中既に工場を閉鎖してゐたものは目下操業の開始に就て少なからず迷つてゐる、尙震災後大阪府の調査によると大阪市を中心とする附近の鍍金工場は一日十六萬枚の亞鉛引鐵板を製造する能力を有つてゐるが現在の製造高は一日平均十一萬枚内外であるから此以上一日五萬枚製造する餘力がある、各工場別の鍍金槽及一日生産能力左の如し。(枚數單位千枚)

	日產枚數	鍍金槽	現在操業中鍍金槽
大阪鐵板	三〇	四	四
日本亞鉛鍍	二〇	四	三
乾鐵線	五	一	一
關西亞鉛鍍	二〇	四	四
共同建材	一〇	二	二
ドック平浪板	二〇	四	二
大正亞鉛鍍	一〇	二	一
浪速亞鉛鍍	五	一	一
日出亞鉛鍍	五	一	一
大阪亞鉛鍍	五	一	休

東洋亞鉛鍍	五	一	休
寶亞鉛鍍	五	一	同
蘆田工業所	五	一	同
井澤工業所	五	一	同
神戸亞鉛鍍	五	一	一
高尾鐵工所	五	一	一
合計	一六〇	三〇	二二

◎大震災に就て發布せられたる諸法令

勅令第四百十一號

政府ハ震災ノ影響ニ因リ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ指定シ生活必需品並ニ土木又ハ建築ノ用ニ供スル器具機械及材料ノ輸入税ヲ低減又ハ免除スルコトヲ得

大正十二年九月十二日

勅令第五百十七號

大正十二年勅令第四百十一號ニ依リ大正十二年三月三十一日迄關稅定率法別表輸入稅表中本令別表記載ノ物品ノ輸入稅ハ之ヲ免除シ貨物自動車以外ノ自動車並其ノ部分品及原動力機ノ輸入稅ハ之ヲ半減ス

大正十二年九月十七日

(別表) (鐵鋼ニ關係アルモノノミ拔萃)

金屬ノ線ヲ入レタル硝子板、鐵條及竿、(テ)形、アングル形等ノ形狀ヲ有スルモノヲ含ム、ワイヤロッド(卷キタルモノ)板金屬ヲ鍍セサルモノ、其ノ他厚〇、七ミリメートルヲ超エサルモノ、其ノ他ノ内厚十ミリメートルヲ超エサルモノ、卑金屬ヲ鍍シタルモノ、錫鍍シタルモノ、(葉鐵及葉鋼)電鍍シタルモノ(波

形ト否ト別タス)線、筒及管(別號ニ掲ケサルモノ)釘、リ
ベツト、螺旋釘、牡牝螺旋釘類(貴金屬ヲ用キタルモノ又ハ貴
金屬ヲ鍍シタルモノヲ除ク)鐵釘、鐵螺旋釘、鐵牡牝螺旋釘及
ワツシヤ、鐵リベツト、鐵道建設用材料(別號ニ掲ケサルモ
ノ)電線支柱及電線支架用材料(別號ニ掲ケサルモノ)家屋、橋
梁、船渠等(船舶ヲ除ク)ノ建設材料(別號ニ掲ケサルモノ)コッ
ク及ヴアルヅ類(貴金屬ヲ用ヒタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタル
モノヲ除ク)蝶鍔、ハツトフツク及戸、窓、家具等ニ用キル金
具(貴金屬ヲ用キタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタルモノヲ除ク)鎖
及鑰(貴金屬ヲ用ヒタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタルモノヲ除ク)
工匠具、農具及同部分品(別號ニ掲ケサルモノ)ストーヴ及同部
分品、ラヂエートル、瓦斯計、水量計、アンペアメーター及ヴ
オルトメーター、ワツトメーター、電信機、電話機及同部分品
(別號ニ掲ケサルモノ)貨物自動車、貨物自動車ノ部分品(原動
力機ヲ除ク)貨物自動車ノ原動力機、クレーン、縫衣機、縫衣
機部分品及附屬品(針ヲ除ク)

九月二十二日緊急勅令を以て臨時物資供給令并に右に關する
特別會計法公布せられたり。

勅令第四百二十號 臨時物資供給令

第一條 政府ハ震災地ニ於ケル米穀以外ノ生活必需品並土木マ
タハ建築ノ用ニ供スル器具、機械及材料ノ供給ヲ圓滑ナラシ
ムル爲メ必要アリト認ムルトキハ當該物資ノ買入、賣渡、交
換、加工若クハ貯藏ヲ爲シマタハ他人ニ委託シテ買入若クハ
賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ物資ノ品目ハ命令ヲ以テコレヲ定ム

第二條 政府ハ震災地ニ於ケル前條ノ物資ノ供給ヲ圓滑ナラシ

ムル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニヨリ期
間ヲ指定シ其輸出ヲ制限マタハ禁止スルコトヲ得
第三條 政府ハ震災地ニ於ケル第一條ノ物資ノ供給ヲ圓滑ナラ
シムル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ生産者、取引業者、倉
庫業者其ノ他占有者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ジマタハ
官吏若クハ吏員ヲシテ其ノ營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢
シ帳簿物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第四條 前條ノ規定ニヨル命令ニ違反シマタハ當該官吏若クハ
吏員ノ職務ノ執行ヲ妨グル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

勅令第四百二十一號 臨時物資供給特別會計令

第一條 震災地ニ於ケル米穀以外ノ生活必需品並土木マタハ建
築ノ用ニ供スル器具、機械及特殊ノ供給ヲ圓滑ナラシムル當
該物件ノ買入、賣渡、交換、加工マタハ貯藏ニ關スル一切ノ
歳入歳出ハコレヲ一般ノ歳入歳出ト區分シ特別ノ會計ヲ立テ
シム

第二條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル必要アルトキハ政府ハ
本會計ノ負擔ニ於テ一億圓ヲ限リ借入ヲ爲スコトヲ得

第三條 本會計ノ負擔ニ屬スル借入金ノ償還及利子支辨ニ必要
ナル金額ハ國債整理基本金特別會計ニコレヲ繰入ルヘシ

第四條 本會計ハ借入金、物資賣渡代金及附屬雜收入トシ物資
ノ買入代金、物資ノ買入、賣渡、交換、加工、貯藏及運搬ニ關

スル諸費、借入金ノ償還金及利子其他諸費ヲ以テ歳出トス
第五條 本會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テコレヲ定

第六條 本會計ハ大正十四年三月三十一日迄ノ期間ヲ通シ一會

計年度トシテ整理シ當該會計年度限リコレヲ廢止ス

第七條 本會計廢止ノ際ニ於ケル收入支出其ノ他必要ナル事項ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テコレヲ定ム
附則 本令ハ公布ノ日ヨリコレヲ施行ス

物資ノ品目

別項臨時物資供給令第一條第二項ノ規定ニヨリ物資ノ品目ヲ左ノ通り農商務省令ヲ以テ指定セリ

(一)魚介類(二)綿毛製衣類及夜具類並其ノ材料(三)薪炭(四)木材(五)トタン板及薄鐵板類(六)釘及鐵線類(七)屋根葺材料及疊蓆類

◎印度關稅委員會と鐵鋼業保護案

(在孟買渡邊領事電報)

客年九月末公表せられたる印度財政委員會調査報告書第九七項國內産業保護に關し曩に立法議會に於て可決せられたる決議に基き印度政府は七月十日附を以て關稅調查機關として委員三名書記一名より成る關稅委員會を組織し委員にデョージ、レニイ(元大藏省デビュテイ、セクレタリーにして本委員會議長)ピー、ビー、ジンワラ(緬甸選出議員)ブイ、ジ、ケール(孟買選出立法參事會員)の三名を擧げ書記として商務省アシスタント、セクレタリーを任命したるが右委員會は一年以内の調査期限内にて政府に於て撰擇せる産業に關し實地調査の結果其保護を必要と認むる當該産業に付ては政府に對し各種の提唱を試みむとするものなると同時に當業者中委員會の調査を希望する者は印度商務省に其旨詳細申請し得るを公示せるが先づ

前掲財政委員調査報告書第百七項に依り右委員會は鐵鋼業の調査に着手し

一 印度鐵鋼業に對し保護を與ふるの要否如何

二 果してありとせば其性質及其範圍如何に關し

三 延て尙鐵鋼を使用する各種工業即ち主として車輛機關車及鐵道用品製造工業に付考究すること

等なり愈八月十七日より在ジャムシエツドビユール、タタ鐵工場の調査に取懸り目下詳細考究中にして爾後カルカツタに向ひ調査の歩を進む可き趣の處右タタ鐵工場側は當地に於ける工場代表者を通じ意見を開陳し現行輸入稅率の一割に對し約三割三分三厘に増稅方申請せりと云ふ。因にレニイ氏は多年官界に在りて財政經濟の造詣深く、ジンワラ氏は法律家にして操觚者ケール氏は當省フーナ、ファア、ガシヨイ(?)大學經濟學教授にして今回の任命は當を得たるものなりと評せらる。

◎米國鐵鋼業八時間制實施

(在市俄古吉田領事來電)

米國製鋼會社其他の主なる鐵工業組合會社は斯界に於ける懸案たりし十二時間勞働制度を本年八月十三日限り廢止し、八時間制を實施する旨聲明せるが之が爲市俄古地方のみにても六千人乃至一萬人の勞働者増員を要すべく從て斯業全部に亘り八時間となるは早くも本年末なるべしとのことなり。

◎鞍山製鐵擴張

鞍山製鐵事業は、鐵分貧弱のため前途を悲觀され一時中止の己むなきを傳へられ内部にも絶望論を唱へるものさへあつたが此の程滿鐵では新に内地から専門家として大學教授三博士及び八幡製鐵所技師向井氏等を招き實地に就き研究せしめた結果、

その報告を基礎として將來一噸四十圓にて採算し得る見込立ち、漸次積極的に經營することに決定した。

◎本溪湖銑鐵生產狀況

本溪湖煤鐵公司是六月一日より百五十噸爐の熔鑛爐に火入を行つたが同熔鑛爐の實際生産力が百三十噸内外であり且つ當初の豫定より十日間を遅れて開始した關係で六月中の生産高は三千噸以内にとまり、七月に入りて六百噸を増加して約三千六百噸を算し、更に八月には七月同様の生産である。而して同公司是既に本年一杯の生産品を横濱渡一號品五十六圓見當賣約して居るが其採算は滿鐵から多大なる援助を受けてゐるが辛うじて手一杯の有様である。

◎米國製の鐵板及釘値段

(在紐育首藤商務官來電)

米國製鋼會社の賣唱値左の如し。

ユナイテッド、ステーツ、プロダクツ會社 C、I、F、神戸着

ガルヴァナイズド、シート、プレート 三×六呎 四六枚物五

六〇封度 三四弗〇五仙 同五〇枚物三六弗三〇仙 長六又

は七若くは八呎 夫れく五〇枚又は四五枚若くは四〇枚物

五六〇封度 三三弗四〇仙 同六〇枚又は五一枚若くは四五

枚物一函 三五弗六〇仙

右工場よりの船積十月より一月まで毎月一萬噸

ワイヤー、釘は七、〇〇〇、五吋ゲージ、七乃至一吋ゲージ

十六平均 一樽に付五弗六五仙

右船積十月二千噸、十一月四千噸、十二月四千噸

但し十月六日迄に註文引受のこと

ジョーンス、ラングリン會社 口頭申出 C、I、F 一、〇〇〇
ワイヤー、釘 四弗八五仙 ベース一樽平均 五弗六一仙
右船積十月

◎建築鋼材市況

震災により家屋橋梁其の他建造物等材料の需要喚起を見越し、一時稍硬化すべき形勢を示した鋼材も政府が輸入税を撤廢した爲に忽ち腰が折れたやうな觀があるけれども實際關稅の撤廢期は來年三月末日までに入港のものであるから今より註文した所でなか／＼思ふやうに萬事手早く運ぶか何うか疑問とされ旁々關稅撤廢後契約の成立したものは漸く大陸方面で三萬噸以内であらうと觀測されて居る。尤も關稅撤廢如何にか、はらず普通の狀態に於て註文され來年三月までに入港出來るものは約八萬噸位に上るのであらうから結局十萬噸内外は關稅免除の恩恵に浴する事となるのであるが、日本に於て關稅免除の結果は一割五分方の輸入有利の採算になるのだから無論物資を吸収するに便宜ではあつたらうが、關稅額の大部分はそれだけ産地相場の引上げとなつたので免除後の註文に對しては輸入者は結局大した有利な立場には立たなかつた模様で自然今日となつてはそれが鋼材相場を軟化せしむる程の効果もなく寧ろ目先需要増加を材料に稍強氣に動く形勢が見えるといふのである。

目下相場は震災前に比し可なり奔騰を示し即ち棒並吋物十貫目五圓(震災前に比し五六十錢高)薄板十三枚物一枚一圓二十五錢(三十錢高)平板一枚一圓八十錢(六十錢高)生子板一圓七十錢(六十錢高)釘一樽二十圓見當(四五圓高)を唱ふるに至つたが、此相場は需給の平衡を得る迄當分繼續し大した變化を望み得ないらしい、併し目下之を海外より輸入するとせば東京持込値段が平板一圓五十錢、生子板一圓四十錢、釘十六圓、十三枚物一圓、棒並吋物四圓六十錢見當に附くから明年二三月頃輸入品の入荷と共に相場は結局右の外國品持込値段見當に落付くであらうと見られて居る。